Creative Enzymes®

組換えTAB5アルカリフォスファターゼ

Cat. No. COV-011

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	アルカリフォスファターゼは、TAB5遺伝子を持つ組換え大腸菌株から得られます。この酵素は、DNAおよびRNAのリン酸モノエステルの5'および3'末端の脱リン酸化を触媒します。また、リボースやデオキシリボヌクレオシド三リン酸（NTPおよびdNTP）を加水分解します。TAB5アルカリフォスファターゼは、5'突出、5'凹、平坦な末端に作用します。このフォスファターゼは、DNAまたはRNAのリン酸化された末端を除去するためのクローニングやプローブ末端ラベリングなど、多くの分子生物学的□用に使用できます。クローニング実験では、脱リン酸化により線状化されたプラスミドDNAの自己連結を防ぎます。また、PCR反□中に未組み込まれたdNTPを分解し、DNAシーケンシングのためのテンプレートを準備することもできます。この酵素は、70°Cで5分間加熱することにより完全かつ不可逆的に不活化されるため、リガーションや末端ラベリングの前にフォスファターゼを除去する必要がなくなります。

製品情報

由来	E. coli
形態	液体
***EC*番号**	EC 3.1.3.1
***CAS*登□番号**	9001-78-9
分子量	35 kDa
緩衝液	10 mM トリス-HCl (pH 7.4, 25°C), 1 mM MgCl2, 0.01 mM ZnCl2, 50% グリセロール。
単位定義	1ユニットは、HindIII（5'突出末端）、HincII（平坦末端）またはPstI（5'凹み末端）で切断された1μgのpUC19ベクターDNAを37°Cで30分間脱リン酸化する酵素の量として定義されます。脱リン酸化は、自己ライゲーション反□における再循環の> 95%の抑制として定義され、E.coliへの形質転換によって測定されます。

保管・発送情報

保存方法	-20 °Cで（繰り返しの凍結-解凍サイクルを避けてください）